

チップづくり 岩田 禎子

中断していたヒノキのチップ作りの作業を再開しました。この大型機械を操作できる人がH氏を中心に限られた人しかいません
まずエンジンをかけるところからですが……あれ？うんともすんとも
……よく見たら鍵が曲がっている

叩いて真っ直ぐに直したけれど、今度は更々に鍵が回らなくなってしまった
仕方ないので銅線を持ってきて電極に当てて通電し、始動の紐をひっぱるもなかなか始動せず時々火花を散らして驚かされる

困ったね、困ったね、今回もラブルから始まりました

合鍵がなかったか？と事務所に戻り合鍵探しをしたところ無い。もしかして
緑化センターにあるのではないかと聞いてみたところ、ありました！ありました！よかった！

すんなり鍵問題は解決して、エンジン始動！エンジン始動まで1時間ほどかかりました
軽トラダンプの荷台に直接チップを排出されるよう排出口の位置が定まるようにチップパーを
移動させたら、いよいよチップパーの始動です

今回荷台にうまくチップを排出させるための排出口を、げんきの森工房のA氏が製作してくれました。これが絶妙のフィットと角度で見事に荷台に排出することが出来ました

それにしても枝の碎ける音とエンジン音が大きいこと

チップパー作業には耳栓と飛び散る破片の防御用にゴーグルも必要です

太い枝から細い枝までチップパーにかけるのですが、1センチ程度の枝はチップにならずにそのまま排出されるため太さは3センチ以上の枝が良いと思われ

時々ヒノキの表皮が剥がれて機械に巻きついて動かなくなる事態が発生し、その度に鎌の先で皮を引き出して機械の回転板を人力で押し回して手作業で取り除く作業が必要になりました。チップ作りは水分の少ない冬の作業にした方がいいのかもしれませんが

これからの時期は皮が剥がれやすくなるので、事前に皮を剥いておいてもいいのかもしれませんが

午前午後とでトラック荷台山盛り出来ました

このチップはその日のうちに紀美野町三尾川にあるヴィーガンレストラン Leaves of glass Kimino に納品してきました

駐車場の防草目的と緩衝材として使用される予定だそうです



活動日：令和8年4月19日(日)9時30分

天気：曇り

参加者：倶楽部員42人

根来山げんきの森倶楽部

令和8年4月作業日誌

新規倶楽部員研修

岡田 和久

里山整備体験に申し込んでくださった高校 3 年生の女性とお母さんに新しい倶楽部員 7 名を加えた 9 名での研修でした。

午前中はデッキでげんきの森の自然の概要と倶楽部の成り立ちや今までの活動内容、現在の活動内容などについて説明して、その後、バリアフリートレイルを歩いて実際の里山を観察しました。1 時間もあれば回れるだろうと思って出かけたのですが、みなさん熱心で 1 時間半もかかってしまって、戻ってきたら 12 時半を回っていました。

午後は炭焼き小屋まで歩きながら道普請のこと、草刈りのこと、炭焼きのこと、ロゴソール作業のこと、薪づくりのことなどいろいろと説明して私たちの倶楽部のことをいろいろと知っていただきました。

来月はノコギリとナタを持って実際に少し木を伐って、整備された森のすっきりした気持ちよさを体験していただく予定です。

今回、参加できなかったみなさんもぜひご参加ください。

里山整備

神浪 佐知子

今日は午前中 7 名、午後 5 名でのヒノキ伐採作業です。

炭焼き小屋南側斜面の木を切ったのですが、1 本目が狙いより少しずれて小屋の雨樋とガードレールを直撃！まあ仕方ない、と気を取り直し、午前中に 4 本倒し、午後からは切った木の片づけをしました。倒したヒノキにはカズラや藤のつたが絡まり、それを外すのが大変。カズラのすさまじい生命力にびっくりします。また、途中の斜面にあって以前から「折れて落ちそう」と言われていた木も取り除きました。皆さんに安心して通っていただけるよう、がんばりました。

うるし谷整備

椿 雅孝

参加は 8 名汗ばみながら梅雨時の様な新緑の中で活動となりました。

例年より早くお茶っ葉も良い感じに、およそ 1 ヶ月時が早いように感じます。

活動は過去の整備で出た入口のごみシバを片付け、その後手分けして

草刈りを各自精一杯頑張りました。

あと以前よりの懸念事項であった幼稚園児が遊ぶデッキ上斜面のナラ枯れの危険巨木の伐倒を行い玉切りし下に降ろしました。

しかしまだ 4 月これからの梅雨や夏が恐ろしく感じるのは私だけでしょうか？



炭焼き 森 留津

炭焼き班の活動日はいつもの通り、まずは炭出しから始まりました。
曇天の下、今回の参加者 9 名で炭を10センチくらいの長さに切り、袋詰めを
します。

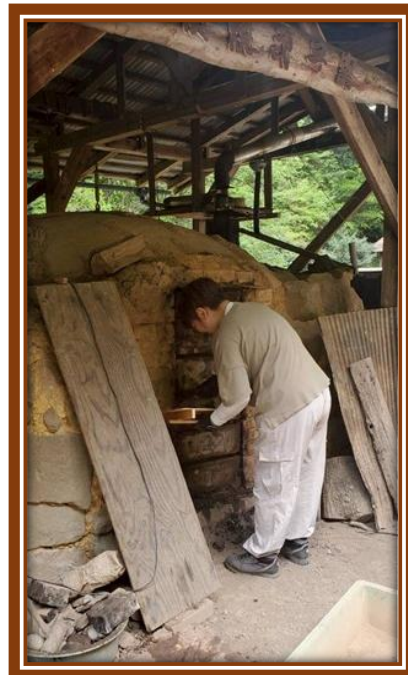
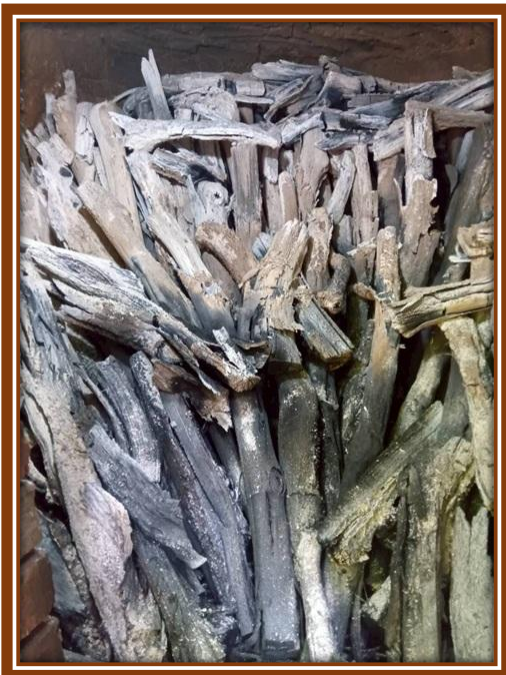
どなたも慣れたもので滞りなく作業が進みます。

午後からは炭材を炭窯に詰めて入り口を閉める作業までを行いました。
これから暑くなると炭出しも暑くて大変になりますが、里山整備の時に
出た炭材を役立つかたちにできていることが励みになります。

今回もいい炭ができています。

化石燃料の使用に不安もあったり、電気やガスの値段どうなっちゃうの！？っ
て、感じている今日この頃、皆さんも元気の森の炭を使ってみませんか？

中々ええ仕事しますよ～。



事務局から

「里山まつり」

4月29日、今年の里山まつりも楽しく終えることができました。

会場整備や販売物品の制作、山菜集めや焼き芋・竹パンの準備、土
仏線沿いへの駐車スペースの整備、助っ人の近畿大学生確保、岩
出市役所からの机借り出しなどの事前準備を整え、4月29日はいざ
本番。

当日は天気が悪い予報も出たのですが、雨も降らずに久しぶりに天気
の心配のない里山まつりでした。倶楽部員以外にも森づくり塾やめぐり
関係者のみなさん、様々な出し物や飲食関係の出店者のみなさん
などがたくさん集まってくださってまつりを盛り上げてくださいました。

竹パン、焼き芋、山菜定食などの食べ物関係は早々に売り切れるな
ど大盛況でした。特に今年はネイチャーゲームの人気の高いたくさんの
参加者でにぎわいました。

それから、11月に白浜町で開催される全国
育樹祭のPRに訪れたキノピーと住みます芸
人のすいみたにさんが会場を盛り上げてくだ
さいました。

今まで16時までの会場時間を実態に合わ
せて15時に繰り上げては、などの改善意見
も出るなど来年に向けての工夫も行いなが
ら、また新しい里山まつり開催に向けてみん
なで取り組んでいきましょう。

みなさんのご協力をお願いします。



岡田 和久